

一重慶日本語放送(二十四日) (東京都市遞信局聴取)

「今晚は日本の中國に對する政治工作デマ工作が失敗に歸しつゝある御話を申し上げたいと存じます。

日本は滿洲事變以來蘆溝橋事件に至る頃までは戦争に訴へないで支那を、屈服、侵略しようとして居たのであります。然るに蘆溝橋事件を契機として中國の猛烈なる抗日によつて愈々戦争に訴へても中國を屈服しなければならぬと態度を變更したのであります。蘆溝橋事件以後上海に於ける戦鬪に於て失敗し重大な損害を受けた日本軍は南京を早く占據して中國を屈服せしめんごその攻略に死力を盡したのであります。南京が陥落しても中國軍や中國政府は一向に屈服の色なし飽くまで抗戦を強調したので日本軍閥の即戦即決の方針はこゝに一頓挫を來たしたのであります。

日本は中國の長期抗戦によつて即戦即決が失敗に歸したと見るや茲にデマ工作を始め漢奸を利用して中國の抗戦決意をにぶらしめようとし一方では武漢の攻略に死物狂となつたのであります。然るに武漢が陥落しても中國は降伏の模様なく日本の政治、軍事工作は共に失敗したのであります。これを觀た日本國民は失望の色を示し、反戦空氣が追々濃厚にな

才来ましたので日本軍閥の狼狽一方ならず精神總動員と云ふ様な事を囁かす出し眞の戦争はこれからだ等と一種の妙な口實を設けることになったのであります。一方戦地に於ける場面は展開し中國軍のゲリラ戦術によつて日本軍は各地に重大な打撃を受けつゝ、あるのではありません。殊に南昌方面に於ては中國軍の反撃に會つて甚大な損害を受けました。その他湖北省にも大部隊の決戦が行はれて居りますが、廣西省方面へ送つた軍隊の協同作戦が不能に陥つて包圍戦は全く失敗に終り又湖南、湖北兩省に於ても中國軍の猛反撃を受けて大冶カンネイでは數百名に達する死者を出して居ります。之等は中國軍攻撃の猛烈さを如實に示して居るものであります。

更に南京近傍の中國軍の活躍によつて同地の傀儡政府は打撃を受けて居りますが上海十三日電によると同地の日本軍當局は湖北河南兩省に於ける作戦の失敗を自認して居ります。日本のデマ戦術は右に述べた事實ばかりでなく皆様も御承知の通り一時は吳佩孚將軍を擔ぎ出して開封にある綏靖委員會の委員長に祭上げ南北にある傀儡政府を統合させようとしたのであります。が人格高潔、名望高い將軍はこんなデマ合作に應ずる筈がなく其の後消息を絶つに至つたのであります。この失敗によつて日本は今度は汪兆銘を引出して利用せんと試みたのであります。が汪も甘くその手に乗らぬので日本政府は汪は役に立たぬなど、悪罵を放つて居ります。この様に日本政府は日本内地では精神總動員といふ様なインチキ政

策を行つて居りますが現地では北京の臨時政府、南京の維新政府、蒙古の蒙疆政權等何れも未だ確立してゐない事を公表して居ります。然るに中國に於ては國民政府及び國民の抗戰意識は益々昂揚しつゝ、ありまして日本軍の中國軍に對する破壊工作も全く失敗に終り、上海に於ては圍圍は暴落し日本軍の中國民衆に對する物資の略奪行爲も意の如く成功を収めてゐない状態であります。

反之中國の抗戰熱は必勝を期する覺悟が顯著になつて來て居ります。

秘

内閣情報部五・二六

情報第四號

桑港英語放送(二十三日)

(一) (ロンドン) 英國下院にてマクドナルド植民相は政府はパレスチナ問題に關し新政策考慮中なる旨述べた

(二) (エルサレム) 英政府のパレスチナ政策不滿より總罷業に入つたユダヤ人は昨夜罷業を打ち切つたがユダヤ人官憲は今次の爭議により八十名の負傷者を出した旨發表した

(三) (ロンドン) 英佛條三國協定に關しチエンバレン首相は明二十四日緊急閣議開催最後決定をみる筈である旨述べた尚この緊急閣議には目下ゼネバにて開催中の聯盟理事會に出席中のハリファックス外相歸京の上出席する事になつてゐる

(四) カルトフに於ける獨逸人射殺事件はワルソの民心を極度に昂奮せしめてゐるポーランド側はナチス黨員の武器輸入より起りたるポーランド税關襲撃に對する損害賠償をダンチヒはドイツ人(商人肉屋業)射殺犯人たる自動車運轉手の引渡し方要求双方抗議提出中である。

(五) (ベルリン) 獨伊兩國の軍事協定はチアノ、リツベントロツプ兩外相により調印された右に關しリツベントロツプ外相は獨伊の協定は兩民族並に全世界の恒久的平和確立の目的で